

2023年5月22日

各位

会 社 名 エディットフォース株式会社
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 小野 高
問い合わせ先 管理部 (TEL: 050-5444-5960)

第三者割当増資による資金調達完了のお知らせ

エディットフォース株式会社(本社:福岡県福岡市中央区、代表取締役社長 小野 高)は、FFGベンチャー3号投資事業有限責任組合、SMBCベンチャーキャピタル7号投資事業有限責任組合、福岡地所株式会社を引受先として第三者割当増資を実施し、総額3億円の資金調達をしたことをお知らせいたします。

このたびの第三者割当増資により今年3月に実施した分とあわせて総額21億円の資金調達を完了したことになります。

代表取締役社長である小野高は、「一昨年に続いてふくおかフィナンシャルグループの投資会社からご支援いただけたこと、そして新たに福岡地所株式会社と大手の三井住友銀行グループのベンチャーキャピタルから当社を投資先として選んでいただいたことは、当社独自のRNA編集技術の革新性や将来性を高く評価いただいたものであり、皆様からの期待にしっかりと応えていきたい」とコメントしています。

当社は、このたびの第三者割当増資で調達した資金を用いて、既存のパイプラインを推進するとともに、基盤技術の改良や新規パイプラインの構築に向けた研究開発活動を拡充し、1日でも早く遺伝子疾患に苦しむ患者さんに当社の技術を用いた医薬品を届けられるよう邁進してまいります。

以 上

【エディットフォースについて】

2015年5月、KISCO株式会社と九州大学・中村崇裕教授（当社前代表取締役社長で現在は当社科学顧問）により設立された、独自のDNA/RNA編集技術（PPRタンパク質プラットフォーム技術*）を有する九州大学発のベンチャーです。ライフサイエンスやバイオテクノロジーへの投資実績のある企業やファンドより出資を受けており、大学や民間企業との共同研究を通じて当該技術を応用した創薬を目指しています。

詳細については、<https://www.editforce.co.jp/>を参照してください。

***PPRタンパク質プラットフォーム技術とは**

PPRは植物で発見された、RNA及びDNAに配列特異的に結合することで遺伝子の発現制御を行っているタンパク質です。ヒトや酵母にも存在しており、同様の機能を有しています。中村崇裕教授と八木祐介CTOはこのPPRに注目し、配列特異性を決定するメカニズムを明らかにし、標的とするDNAまたはRNA配列に結合するタンパク質を作成する技術を確立しました。さらに、酵素タンパク質と融合することで、細胞内外問わず、標的ゲノムやRNAを自在に操作、改変することが可能です。

【FFGベンチャー3号投資事業有限責任組合について】

FFGベンチャー3号投資事業有限責任組合は、株式会社FFGベンチャーキャピタルビジネスパートナーズが運営するベンチャーキャピタルファンドです。株式会社FFGベンチャーキャピタルビジネスパートナーズは、ふくおかフィナンシャルグループ傘下のベンチャーキャピタルとして、地域経済の活性化や新産業の創出に資するスタートアップをご支援しています。投資対象は九州に留まらず、国内外の最先端スタートアップへの投資を行うとともに、スタートアップを九州経済に橋渡しすることにより、地元企業様の事業成長へ寄与していくことを目的とした取り組みを行っております。

詳細については、<http://www.ffg-venture.co.jp/>を参照してください。

【SMBCベンチャーキャピタル7号投資事業有限責任組合について】

SMBCベンチャーキャピタル7号投資事業有限責任組合は、SMBCベンチャーキャピタル株式会社が運営するベンチャーキャピタルファンドです。SMBCベンチャーキャピタル株式会社はベンチャー投資を20年超にわたって続けてきた国内VCの老舗であり、長期的な視野に立った投資を行っております。監査法人や証券会社、他投資家などベンチャー企業をご支援する様々な企業との接点を有しており、これらのネットワークを活用したご支援をいたします。総合金融グループである三井住友フィナンシャルグループの一員として、グループのグローバルなネットワークと総合力を通じ、成長ステージにあわせたシームレスなご支援も行っております。

詳細は、<https://www.smbc-vc.co.jp/> をご覧ください

【福岡地所株式会社】

福岡地所株式会社は、地域に根差したディベロッパーとして、「福岡をもっとおもしろく」という想いで、オフィスビル・商業施設・マンション・ホテル・物流施設等の企画開発に取り組んで参りました。まちの魅力を高めるためには、国内外から企業や人材を呼び込むだけでなく、スタートアップ企業を支援し、福岡から世界的企業へ成長させる必要があると考え、2017年より、官民共働型スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」の運営に参画しています。また、「Fukuoka Growth Next」に拠点を置くベンチャーキャピタル「FGN ABBALab ファンド」や、九州大学発のスタートアップへの投資を行っています。

詳細は、<https://fukuokajisho.com/>をご覧ください。

以上